

全私保連保育運動
新しい時代は
子どもから

保護者の皆様へ 私たちが伝えたい7つのメッセージ



今回のメッセージは……

その7

子どもは自然が大好きです

朝起きてカーテンを開けると、お日様の光が降り注ぎます。まだ眠い子どもも、その日射しのまぶしさで、だんだんと目を覚ましていきます。日の光を浴びることで、一日の生活リズムが整うと言われています。お日様という自然の力です。しっかりと朝食を食べて、保護者の皆さんの家事が落ち着いたら、さあお出かけです。「お出かけをして、お外行こうよ」の声かけで、いそいそ玄関へ向かいます。

一人で歩けるようになれば、頭部保護、熱中症予防や保温のために、(嫌がらなければ)帽子を被ることをお勧めします。また、暑くても寒くても、お茶を持って行きましょ。

準備ができたらさあ出発。「今日はどこへ行くのかな。」

目的地まで車でとっくにご家庭も多いと思いますが、歩くこと(お散歩)で自然との関わりがぐんと増えます。公園があれば公園へ、川があ



れば川へ、あぜ道があればあぜ道へ、でいいのです。道端の花を見つけて香りを楽しんだり、そくと触ってみたり、犬や猫、鳥たちに声をかけたり、日向の暖かさ、日陰の涼しさなども感じながら、お散歩を楽しみます。目的地に着くまでの寄り道は子どもにとっての宝物です。

雨の日は湿った空気や雨音が子どもを包みます。サッシを伝う雨粒も、子どもには不思議な生きもののように、注意を引き付けます。一日雨で外に出られない時も、少し窓を開けて外気に触れたり、飾ってある花や水槽の魚、虫かごにいる虫たちを眺めることができれば、自然に触れたいという子どもの欲求に応えられます。

図鑑や絵本で、昨日公園からポケットに入れて持って帰ったものを調べたり、並べたり、興味、関心に応じた楽しみ方ができます。

子どもは胎内で羊水に包まれ、身近な大人の体温を感じ、外気に触れ、大地を這い、育っていきます。泣いている赤ちゃんを抱っこしてベランダに出ると泣き止むのは、風や匂いなど、目の前に広がる未知なる自然を敏感に感じ取っているのでしょう。

暑い、寒いと戸外に連れ出すことを負担に感じる時もあります。でも遊びが無限にある自然の中での遊びが、子どもは大好きです。「お外行こうか」の声かけを子どもは待っています。

新しい時代は子どもから

～子どもの今が未来を創る～



公社)全国私立保育連盟は、未来を生きていく子どもたちの為に
社会へ向けて、7つのメッセージを送ります。

あおむし通信

<https://www.zenshihoren.or.jp/>



新しい時代は子どもから

<https://undou.zenshihoren.or.jp/>



全私保連
公式 YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCy3LvUSg5wmwIXdA0RkkJXA>



公益社団法人
全国私立保育連盟

*この2ページをコピーして、保護者の皆様へ配布をお願いします。